

くらしと経済を考える
懇談会でした

4月26日に「暮らしと経済を考える懇談会」が開催されました。『雇用の拡大と賃上げこそデフレ脱却の道』です。野洲市でも不況で市民の暮らしも大変です。市民の声を大いに市政に届けます



コミセンやすでの懇談会(4月26日)

懇談会では、坪田いくお党県国民運動部長や山元大造県労連事務局長がパネラーでした。東郷正明党市くらし対策委員長はルネサスでのリストラ・合理化について発言しました。

アベノミクスで本当に経済はよくなるの
必要なことは、賃上げと雇用の安定で
消費と国内需要を活性化させることです

坪田さんは、派遣労働者の増加と大企業の内部留保の増大が相関関係にあるとして、「日本経済がヒドイことになっているのは働く人の賃金が減り続けているから」と指摘。

県労連の山元さんは、暮らしと雇用を守るためには運動を強めることの重要性を強調しました。

昨年まで大津のルネサスで働いていた東郷さんは、「早期退職」という名のもと、解雇を強行した企業の実態を報告しました。また、人間らしく生きるためにも政治の転換の必要性を強調しました。

野洲市でもこれまで村田製作所などが大量の派遣切りをしています。雇用と賃上げで市民の暮らしと地域経済再生が求められています。

まさあき
駆け歩き

第16回守山野洲地域メーデー
共産党を代表してご挨拶をしました

5月1日は守山市で開催されました「第16回守山野洲地域メーデー」に参加しまして、日本共産党を代表してご挨拶をしました。

私自身、昨年10月まで大津市のルネサス(新日本電気)で働いていましたので挨拶にも力が入りました。

安倍内閣の経済対策で本当に暮らしはよくなるのか?。市民にはそのような実感はありません。野洲市でも雇用と暮らしの問題に大いに取り組みたいと思います。



共産党を代表して挨拶(5月1日)

また、こともあろうに自民党や維新の会が憲法9条の改悪や原発推進、消費税増税、TPP推進を強行しようとしています。政治の転換の重要性を強く感じたメーデー集会となりました。 東郷正明

憲法九条を守る平和の集い

野洲・九条の会が「日本国憲法改正草案の問題点」と題して集いを開催されます。ご参加ください。

◆6月23日(日)午後2~4時
◆コミセンきたの(大ホール)

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2013年5月5日 252

暮らしのご相談を
お寄せください

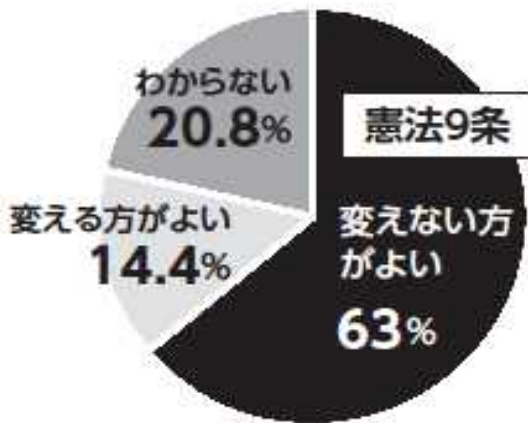
小菅六雄 比江668-3 (電話・FAX)589-4971
野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX)587-0985
太田健一 近江富士2-11-25 (電話・FAX)588-3169

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索

9条まもり 平和憲法を 生かす日本を

日本共産党



日本高等学校教職員組合が4月19日に発表した「2012年度高校生1万人憲法意識調査結果」

日本が引き起した侵略戦争によってアジアで2000万人、日本で310万人をこえる尊い命がうばわれました。戦後の日本は、この痛苦の経験にたって、「二度と戦争はしない」「国民が主人公」を原則にした新しい日本国憲法のもとで国づくりをスタートさせました。

いま、その憲法を変えようとする動きが強まっています。とんでもありません。国民の多数は憲法9条を変えることに反対です。

日本共産党は、戦前から命がけで侵略戦争に反対した政党として、憲法を守り生かす政治を実現するために全力でがんばります。

自民

「9条を書き変えるべき」(安倍首相)

維新の会

「軍事国家になるべき」(石原共同代表)

「国防軍を創設」など、戦争の時代に日本を逆戻りさせるような発言があいついでいます。改憲勢力は、9条改定にねらいをさだめ、まず96条(改憲手続き)から変えようとしています。「戦争をしない」と世界に公約した9条をまもってこそ、日本はアジアと世界で平和に貢献し、信頼を得ることができます。

まずは96条を変え、
改憲のハードルを下げる
——これが改憲派の作戦です。

靖国問題

侵略戦争の無反省は
世界で孤立

「歴史を忘却した時代錯誤的な行為」
「深い憂慮と遺憾」(4月22日韓国外務省
報道官)
「日本の不要な国粋主義」(米・ニューヨ
ークタイムズ紙4月24日電子版)

日本共産党演説会

◆5月25日(日)午後3時 ◆大津市・びわこホール



衆議院議員

こくた 恵二



党県国民運動部長

坪田 いくお